

## 第6次高浜市総合計画 基本計画

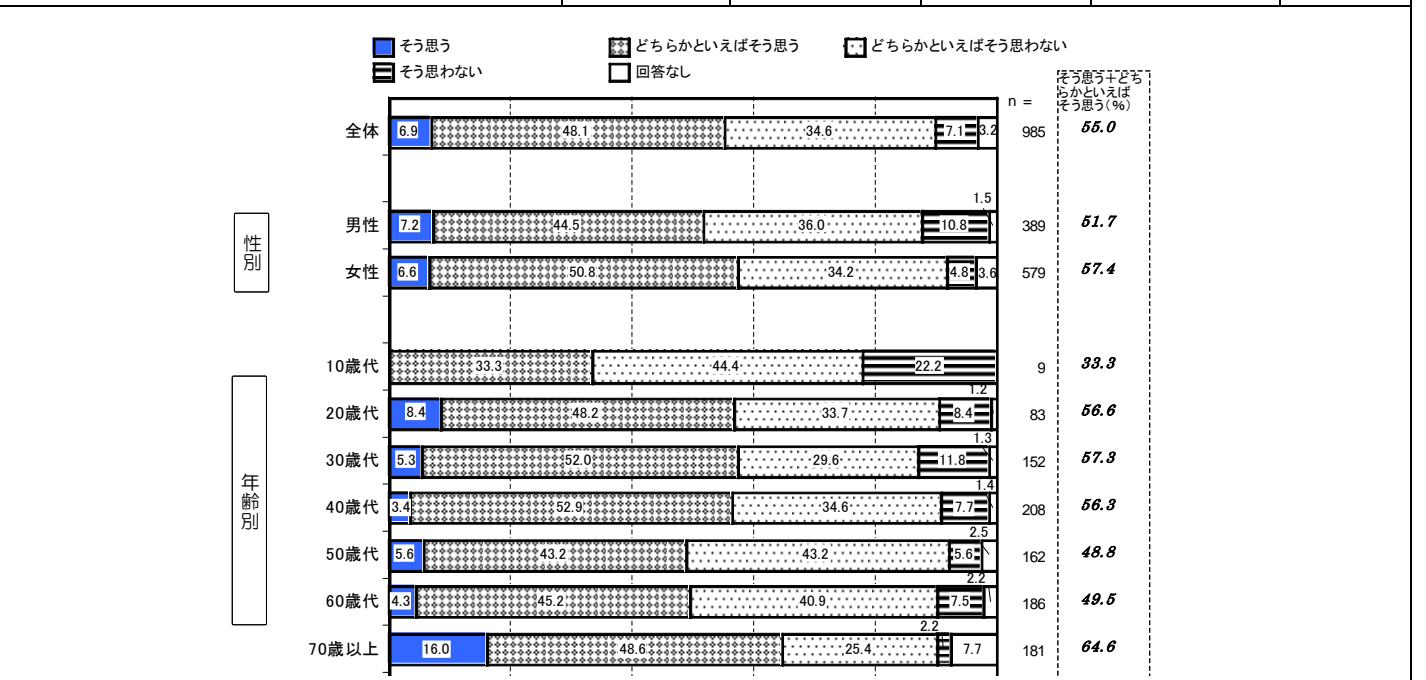
1. 目標	(4) 学びを通して人づくりを進め、夢と希望につなげます		
とりまとめG	こども未来部 文化スポーツG	担当G	こども未来部 文化スポーツG

2. 目標が達成された姿
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 感動との出会いにより、子どもたちが成長し、次の世代へ夢とロマンを語り継いでいます。</li> <li>◇ 市民が学ぶ力を高め、学んだ成果をまちづくりに積極的に活かしています。</li> <li>◇ 地域資源が次の世代へ継承され、地域に息づいています。</li> <li>◇ 「たかはまが大好き」という市民が増えています。</li> </ul>

3. 【CHECK】 みんなで目指すまちづくり指標 —目標達成状況—						
目標の達成度を計る指標	計画策定時の値 (2010)	実績値			目標値 (2013)	進捗度 評価
		(2011)	(2012)	(2013)		
1) 高浜市に愛着や誇りを持っている人の割合	64.0%	69.5%	72.0%	72.4%	68%	
2) 将来の夢を持っている子どもの割合	77.8%	79.5%	81.1%	78.7%	80%	

### 4. 【CHECK】 市民意識調査結果

設問	計画策定時の値 (2010)	実績値			動向
		(2011)	(2012)	(2013)	
学びを通して人が育ち、夢と希望を持って楽しく暮らせるまちだと思う	45.4%	47.1%	54.1%	55.0%	



### 5. 【CHECK】 「みんなで目指すまちづくり指標」「市民意識調査」結果に対する現状分析(要因・課題等)

- ◆ 指標1) は前年比 0.4 ポイントの上昇。7割を超える人が高浜市に愛着や誇りを持っており、各種の取組みで、「地域」への関わり、あるいは「地域」を意識する人が増えたことが目標達成の要因とみられる。
- ◆ 指標2) は前年比 2.4 ポイント減少したが、調査対象である小3から中3の子どものうち80%近くが、将来の夢を持っており、高い水準にある。今後も、日常の取組みの中で、高浜の子どもたちが夢を持って未来へ羽ばたいていけるよう、引き続き、こども・若者の成長応援を続けたい。
- ◆ 「市民意識調査結果」は、年々数値が上昇しており、学びに触れる機会を継続して提供している効果が出ている。今後、さらに学びの機会を増やし、夢と希望を持てるよう取組みを進めたい。

## (前期) 施策評価シート

### 6. アクションプラン(事務事業)の評価結果(「進捗状況」「効率性」の観点から見た行政による内部評価)

アクションプラン (事務事業名)	評価 結果	活動指標名	実績値 (2013)	目標値 (2013)
		成果指標名		
【No.10】生涯学習基本構 想推進事業	現行 どおり	生涯学習基本構想の基本計画に掲げた取 組みを具現化していく	9回	2回
		高浜市に愛着や誇りを持っている人の割合	72.4%	68%
【No.11】未来に羽ばたく 人材育成事業	改善 (効率性)	循環型生涯学習サイクル実現のための生 涯学習プログラムの策定数	7プログラム	7プログラム
		将来に夢を持っている子どもの割合	78.7%	80%
【No.12】生涯スポーツ推 進事業	現行 どおり	スポーツイベント等の数	33回	31回
		スポーツイベント等の参加者数	6,561人	6,200人

### 7. 【CHECK】これまでの主な取組みと成果

- 【No.10】◆生涯学習基本構想が平成24年度よりスタートし、平成25年度は高浜市の未来を創る市民会議 生涯学習分科会との協働で「高浜(まち)の学校」を夏季5講座、秋季4講座を開催した。また、生涯学習の人材の掘り起しのため、月1回「地域の達人」を広報たかほまで紹介した。生涯学習としては、図書館や美術館において、夏休みおはなし会&工作、陶芸講座など計77回開催、地域においても子ども向けの学習が活発に行われている。
- 【No.11】◆「たかはま夢・未来塾」では、学校では学ぶことのできない専門性の高い講座を定期的実施し、189名の子どもたちが参画する中で、子どもたちの士気を高めるため、各種大会等にも積極的に出場した。ロボカップジュニア全国大会出場4チーム、あいち創意工夫展入賞、ディベート甲子園第3位など好成績を収めた。
- ◆中高校生の居場所「バコハ」では、市民ムービー「タカハマ物語」ブランドの商品CMを制作するとともに、「タカハマ物語」をイメージした鬼瓦コンサートを開催し、450名集客した。
- 【No.12】「NPO法人たかはまスポーツクラブ」が主体となり、「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」を合言葉に、スポーツイベントやサークルなど、ライフスタイルに合わせスポーツを楽しめる場を提供する中で、スポーツ人口の増加や市民の体力・技能の向上を図った。新たに市民駅伝(298名参加)を開催したほか、市民レガッタ(366名参加)、シティマラソン(2,040名参加)、市民体育大会(3,141名参加)など各種スポーツ大会を開催した。

### 8. 【CHECK】【ACTION】課題と今後の取組みの方向性

#### (1) 生涯学習基本構想の総合的な推進

生涯学習基本構想の基本理念を実現するためには、人と学びの輪をさらに広げ、多様な人が主体的に学びにかかわり、学びの成果がまち中に広がる、さらに将来につながる、総合的な取組みが求められる。まちへの愛着・誇りを高め、まちの魅力を将来へ語り継ぐために、子どもから高齢者まで、また外部の視点も取り入れながら、市民とともにまちの魅力を掘り起こし、高浜市の財産としてまとめ、学び合い・語りあっていく総合的な取組みを平成26年度から進める。

#### (2) 子どもの成長支援に関わる大人を増やす

「まなび」の根っこと位置づける子どもたちに焦点を当てながら、地域の子どもの成長支援に関わる指導者(地域の達人)やサポートする大人を増やし、学ぶ機会を増やす取組みが求められる。高浜(まち)の学校など、日常に溶け込む形で学びの機会を創出する取組みを継続したい。

#### (3) 夢や希望を膨らませる取組み

地域の将来を担うのは若者、とりわけ子どもたちであり、夢やロマンを語り、未来に羽ばたく人材を育てる取組みが欠かせない。「たかはま夢・未来塾」を中心に、専門性の高い講座を実施していくとともに、大会への出場など目標を明確に持たせることで、意欲を高め、夢や希望が膨らんでいくような事業を展開していく。また、「タカハマ物語」第Ⅱ弾を「子ども・若者成長応援事業」の中核事業と位置づけ、平成27年度の撮影に向けて、子どもたちが関われる機会を多く創出し、子どもたちのやる気や責任感・自主性を引き出す要素を活動に盛り込んでいく。

#### (4) スポーツを通じた健康づくり・生きがいづくり

高齢化を背景に、誰もが気軽にスポーツに親しみ、健康で明るく活力に満ちた地域社会を創ることがますます求められる。スポーツ・レクリエーション機会の創出や(仮称)高浜緑地の整備など、市民が気軽にスポーツに参加できる環境づくりを、引き続き、NPOたかはまスポーツクラブやスポーツ推進委員など関係者と連携して進めたい。

### 9. 【CHECK】第6次高浜市総合計画推進会議による点検・確認結果